

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●ジャパンカップはキタサンブラックが逃げ切って優勝

11月27日(日)のジャパンカップ(G I)ではキタサンブラック(牡4歳/栗東・清水久詞厩舎)が優勝しました。同レースの逃げ切り勝ちちは1984年のカツラギエース、2003年のタップダンスシチーに続き史上3頭目のこととなります。

### ●角居勝彦調教師がJRA通算600勝を達成

11月26日(土)の5回京都7日・第6レースではラビットランが1着となり、同馬を管理する角居勝彦調教師(栗東)は、現役14人目となるJRA通算600勝(4362戦目)を達成しました。

### ●ディーブインパクト産駒のJRA通算勝利数が単独第9位に

11月27日(日)の5回東京8日・第7レースとしておこなわれたベゴニア賞ではサトノアレスが1着となり、ディーブインパクト産駒のJRA通算勝利数が1259勝となりました。これはヒンドスタン産駒の1258勝を上回り、単独第9位となる記録です。

### ●ダノンシャーク、ダノンレジェンドらの競走馬登録抹消

2016年スポーツニッポン賞京都金杯(G III)の勝ち馬ウインプリメーラ(牝6歳/栗東・大久保龍志厩舎/JRA通算33戦6勝)、2015年京阪杯(G III)の勝ち馬サトノルパン(牡5歳/栗東・村山明厩舎/JRA通算23戦5勝)、2014年マイルチャンピオンシップ(G I)などの勝ち馬ダノンシャーク(牡8歳/栗東・大久保龍志厩舎/JRA通算39戦7勝)、2016年JBCスプリント(川崎・Jpn I)などの勝ち馬ダノンレジェンド(牡6歳/栗東・村山明厩舎/JRA通算16戦5勝・地方14戦9勝)、2011年北海道スプリントC(門別・Jpn III)の勝ち馬マルカフリート(牡10歳/栗東・浜田多実雄厩舎/JRA通算34戦9勝・地方1戦1勝)は、11月25日(金)までに競走馬登録を抹消されました。ウインプリメーラは北海道新冠町のコスモヴェーフームで繁殖馬、ダノンシャークは北海道日高町の下河辺牧場で種牡馬、ダノンレジェンドは北海道浦河町のイースタッドで種牡馬、マルカフリートは北海道浦河町のJRA日高育成牧場で乗馬となり、サトノルパンは乗馬となる予定ですが繋養先は未定です。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●ラブミーチャン記念は金沢のヤマミダンス【各地の主要2歳重賞】

ラブミーチャン記念(11月8日、笠松、1600<sup>円</sup>、牝馬)は、先手を取ったヤマミダンス(父ハーツクライ)が3馬身差で楽勝、単勝1.1倍の支持に添えてデビュー以来の連勝を4に伸ばしました。ローレル賞(11月3日、川崎、1600<sup>円</sup>、牝馬)は、2番手から残り200<sup>円</sup>で抜け出した3番人気の北海道からの遠征馬でエーデルワイス賞2着のアップトゥユー(父サウスヴィグラス)が6馬身差で圧勝。平和賞(11月9日、船橋、1600<sup>円</sup>)は、差のある6番手から追い上げた7番人気の伏兵スカイサーベル(牡、父ディーブスカイ)がゴール前で差し切り勝ちを収めました。プロッサムC(11月10日、門別、1600<sup>円</sup>、牝馬)は、中団から3、4コーナー中間で先頭に立った4番人気のジュンアイノキミ(父セイントアレックス)がそのまま押し切って優勝。ハイセイコー記念(11月16日、大井、1600<sup>円</sup>)は、4番手前後から差を詰めた1番人気のミサイルマン(牡、父カネヒキリ)が直線で抜け出し、無傷の3連勝を飾っています。

### ●トロワボヌールらが参戦、12月7日のクイーン賞(船橋)

クイーン賞(Jpn III、船橋、1800<sup>円</sup>)は、JRA所属馬ではトロワボヌール、ヴィータアレグリア、タイニーダンサー、マイティティの順に有力視されますが、やや手薄な感があり、トーコーヴィーナス(兵庫)、タイムビヨンド(北海道)ら地方勢にも善戦の余地がありそうです。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●ブドー騎手が欧州平地年間最多勝記録を更新

11月22日の仏シャンティイ競馬場でP.ブドー騎手(23歳)が1日4勝をマーク。今年の勝利数を276にまで伸ばし、1995年にドイツのP.シールゲン騎手(現調教師。凱旋門賞馬デインドリームや今年のジャパンカップに出走したナイトフラワーを管理)が記録した欧州平地年間最多勝記録である273勝を一気に更新しました。ブドー騎手は昨年、179勝をあげてC.スミヨン騎手と分け合う形で仏リーディングを初めて獲得。今年は序盤から勝ち星を量産し、10月16日には229勝目をあげて、スミヨン騎手が持っていた仏年間最多勝記録を塗り替えていました。

### ●ヌーヴォレコルトがアメリカでG3を制覇

2014年のオクス馬ヌーヴォレコルト(牝5歳、父ハーツクライ、斎藤誠厩舎)が11月24日に米カリフォルニア州のデルマー競馬場で行われたG3レッドカーペットH(3歳以上・牝、芝11<sup>00</sup>ヤ)に優勝。昨年3月のGII中山記念以来となる勝利をアメリカであげました。岩田康誠騎手を背に3番人気での出走となったヌーヴォレコルトは道中、内でじっと我慢。直線で外に持ち出されると鋭く伸びて、斤量がヌーヴォレコルトよりも3<sup>ポンド</sup>軽かった1番人気のアルル(G2とG3で2着の実績あり)をゴール前でハナ差交わしました。